

心つないで

No. 8

発行

2011年4月19日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉

(ろっこう医療生協・本部内 Tel 078-802-3424)

4月11日から大倉組員活動支援担当は、相馬市の旧・相馬市立女子高校の避難所に支援に入りました。現地の様子を伝えてくれましたので、報告します。(以下、文責は編集部)

相馬市の 避難所は、今

避難所に約600人。18日までに退去せねば……

○私が入った避難所は、当初約600人が。主に原発被害のあった、南相馬市からの方が多いようです。ただ、余震が続くと建物が危ないということで、4/18には撤収し、人々は次の場所にまた移動せねばならず、苦悩が続きます。

○朝8時。リーダーのミーティング。あと二日でここも閉鎖。福島市北部の飯坂温泉旅館、ホテル行きか、南相馬市の原町二中行きか、自宅に戻るかです。いずれにしても家があっても帰れない状況は続きそうで、大変。

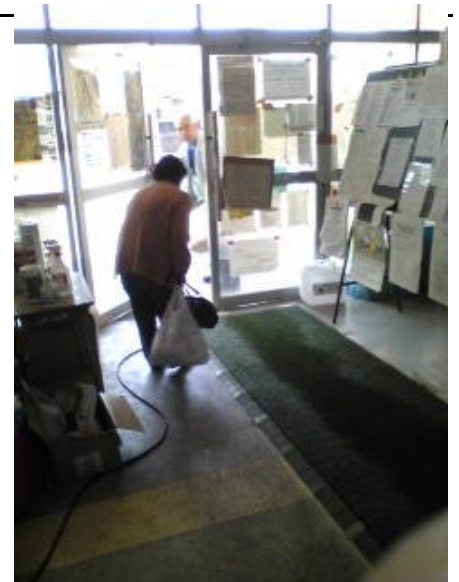
○9時前から12時過ぎまで、次の避難所原町二中に、余っている水、カップラーメン、米、ストーブ、鍋などを搬出・搬入しました。途中、河を上った津波の形跡を見ました。小舟がたくさんひっくり返っていました。

○毎日、10時と3時にラジオ体操を校内放送を利用して実施。大倉さんはそのリーダーの一人として頭角を現し、大活躍しました。〈写真・右の右の白いジャンパー〉

○大倉さんはこれらの活動を丸一週間取り組んで、18日無事に帰神しました。

◆震災発生から今までに取り組んだ被災地支援活動を、みんなで共有する集いを企画しました。ぜひご参加ください。

〈避難所の受付で指示する大倉さん〉



〈避難所入り口付近〉

○避難所の玄関付近には、多くの貼り紙、支援物資などが。〈写真・右〉

○トイレは1階のみ使用可能。2、3階の高齢者には大変キツイ。〈写真・下〉



4/23 被災地支援活動 **報告集会**

PM1:30~/原田の森ギャラリー401